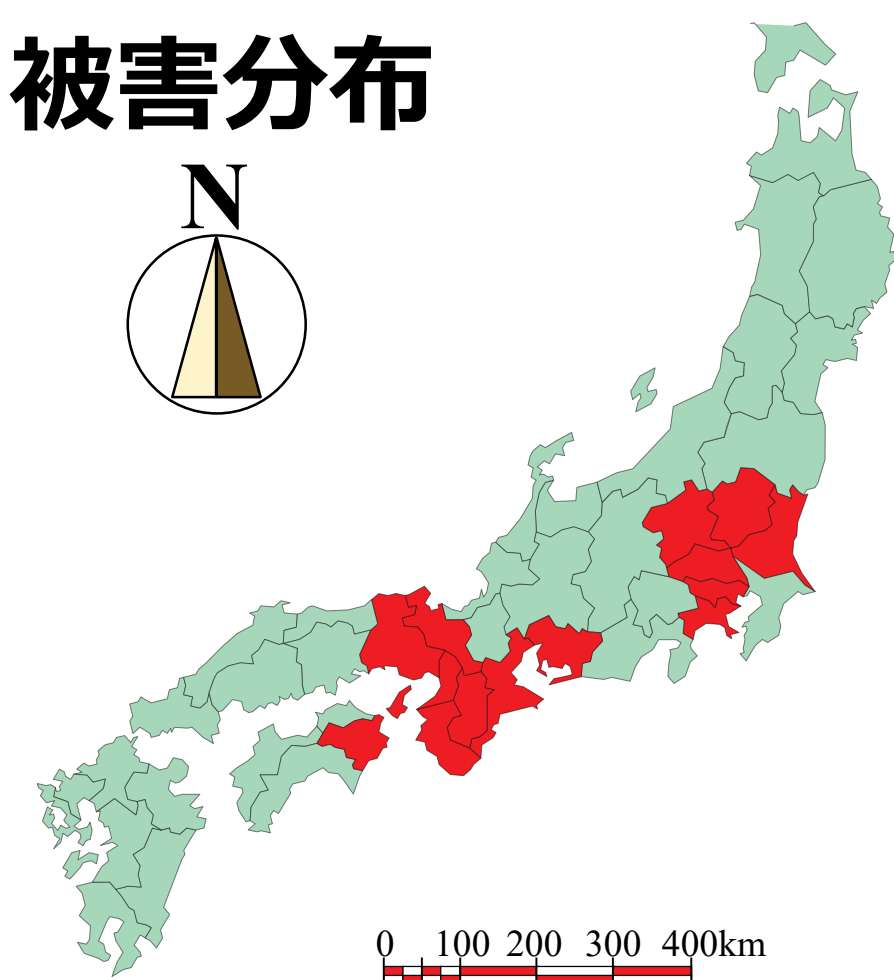


特定外来生物 クビアカツヤカミキリ

国内での被害発生状況と、サクラの樹を護る方法

被害分布



2011年 埼玉県で成虫を採取
(国内初確認)
輸入梱包材に幼虫が穿入した
状態で侵入したと推定
2012年 愛知県で樹木が枯死
(国内初被害)
2018年 特定外来生物に指定
2024年現在
14都府県で被害確認

被害樹種



その他、スモモ、アンズなどのバラ科樹木

被害様式

- ・5月半ばから10月まで、幼虫がフラス(木屑+糞)を排出する
- ・被害樹の幹は、数年にわたり連続的に産卵・穿孔加害を受け、数十を超える成虫が羽化した後に枯死する



↑ 樹皮下の幼虫が排出したフラス
材に穿入した幼虫が排出したフラス→



クビアカツヤカミキリの一生

(2年から3年に一度、成虫になる)



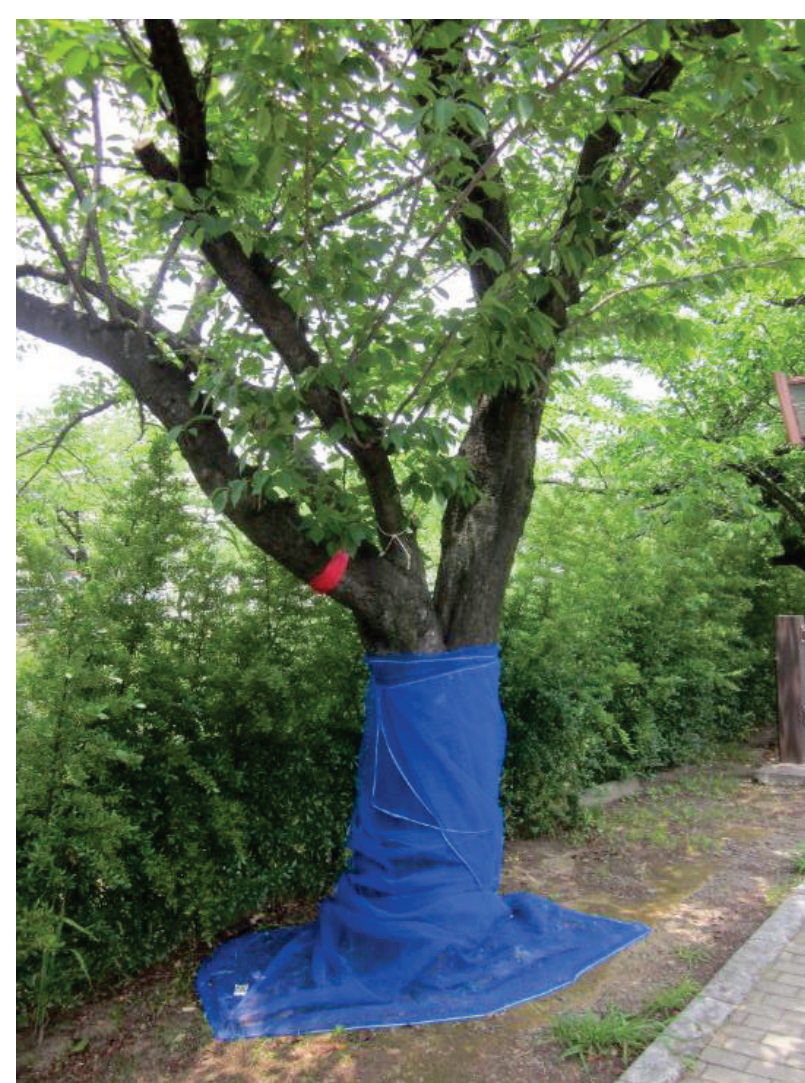
防除法 (1) 伐倒



最も確実な方法
ただし、プロに依頼要

- 上部から伐倒・玉切り
- 成虫脱出期(5月下旬から8月)を避けて実施.
- 伐根にも幼虫がいることが多いので、シーリングや剥皮等の処理を施す.

防除法 (2) 成虫捕殺



簡単に出来る方法

- 防鳥ネットを樹幹に巻き付け、こまめな見回りで捕殺
- 羽化した成虫が網の中で交尾産卵するので注意



防除法 (3) 幼虫駆除

出来る方法



- ① カミキリムシ用の殺虫剤スプレー(ノズル付き)を用意
- ② 排糞孔から幼虫孔道内のフラスを千枚通しとブラシで除去
- ③ ノズルを差し込み薬液を注入

防除法 (4) 樹幹注入

プロに依頼



- 幹の地際にドリルで穴をあけ、その穴から薬剤を注入
- 全体に行き渡らせ、まとめて駆除
- 枯れてしまった部分は、薬剤が移動しないことに注意



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 関西支所